

議会だより



おじちゃん、がんばって！（2003久米島マラソン）



15年度補正予算案を可決	2
意見書・宣言決議・決議	3
一般質問	4
久米島町議会組織名簿	16

12月定例会 補正予算

12月定例会は、12月18日～22日までの5日間の日程で行われました。
議案5件、報告2件、同意1件、発議3件を審議しました。

平成15年度一般会計補正予算（第4号）

歳出の内訳	補正額	歳入の内訳	補正額
議会費	△ 2,547 千円	町税	135 千円
総務費	△ 17,864 千円	分担金及び負担金	559 千円
民生費	47,092 千円	使用料及び手数料	1,116 千円
衛生費	3,757 千円	国庫支出金	17,672 千円
農林水産業費	44,882 千円	県支出金	42,129 千円
商工費	138 千円	財産収入	1,899 千円
土木費	△ 27,277 千円	諸収入	2,445 千円
消防費	△ 2,006 千円	町債	△ 27,800 千円
教育費	1,924 千円	歳入合計	38,155 千円
災害復旧費	△ 2,190 千円		
予備費	△ 7,754 千円		
歳出合計	38,155 千円		

12月補正後の各会計予算総額

会計別	今回補正額	補正後の額
一般会計	38,155 千円	9,254,798 千円
国民健康保険特別会計	73,081 千円	963,303 千円
老人保健特別会計	10,732 千円	1,135,270 千円
下水道事業特別会計	57,600 千円	451,886 千円

た。
両氏が推薦されまし

一三
川上博久氏

字比嘉一二一番地の
内間清有氏
字仲泊四三五番地
の内間清有氏
求め、
字比嘉一二一番地の
字仲泊四三五番地
の内間清有氏

■人権擁護委員の推薦
内間清有氏
川上博久氏

諮
問

再任を提案されたもの
です。
任期満了に伴う同氏の
再任を提案されたもの
です。
監査委員の國吉氏の
を選任することに同意
しました。
三二六番地、國吉弘志
を選任することに同意
しました。

■監査委員の選任
國吉弘志氏

同
意

三件が採択されまし
た。

「飲酒運転撲滅宣言に
関する決議について」
「イラクへの自衛隊派
遣に反対する決議につ
いて」
三件が採択されまし
た。

「離島航路補助制度に
おける市町村負担導入
に関する意見書」

決
議

「町道奥武島一号线一
号橋（下部工P2橋脚）
工事請負契約について」
一件が可決されまし
た。

工
事
請
負

離島航路補助制度における市町村負担導入に関する意見書

離島航路運営事業につきましては、これまで県の格別なるご配慮により運営が図られてきましたことに対し、深く感謝申し上げます。

離島航路は、航空路とともに離島住民の生活向上並びに産業振興等住民生活安定のうえから欠くことのできない路線であり、特に、離島航路以外の交通手段のない離島住民にとっては唯一の生活航路で、国・県道に値する路線であると考えております。

しかしながら、離島市町村は地理的・自然的な制約条件を背景にして今なお産業基盤の整備をはじめ住民の生活条件が各面で制限されており、台風、荒天等による欠航も多く住民生活等に大きな影響を与えております。

離島航路運営事業については、経営の健全化に努める必要があることは十分認識しており、各離島航路事業者においても経営努力をして、収益の拡大を図り、費用の節減合理化に取り組んでいるところでありますが、離島航路補助制度が見直しされますと財政的にも脆弱な離島市町村においては、離島航路の維持・確保は困難な状況であります。

つきましては、県が平成16年度から実施しようとしている離島航路補助制度における市町村負担の導入については、離島の民生の安定と向上並びに離島市町村と本島市町村との格差是正を図るために、下記事項に特段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 離島航路補助制度は当面の間は現行どおり実施していただきたい。
2. 将来的に市町村負担導入をするにあたっての負担割合は離島市町村の財政を圧迫することがないように県提案の市町村負担割合を縮小していただきたい。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成15年12月19日 沖縄県久米島町議会

宛 先 沖縄県知事 稲嶺恵一 殿
沖縄県議会議長 伊良皆高吉 殿

「飲酒運転追放」に関する宣言決議

交通事故をなくし、安心して住み良い暮らしができる社会は、町民共通の願いである。

昨年6月1日には、道路交通法の一部が改正され飲酒運転等の罰則が強化され、「飲酒運転は犯罪である」と全国的に広報啓発されているにもかかわらず、町内において11月末現在、飲酒運転で11名が検挙されている。

飲酒運転が横行し町民に危険を及ぼしていることは由々しき事態であり容認することはできない。

今年の町内の交通死亡事故3件を分析してみると、飲酒絡みによる事故が2件(66.7%)発生し、深刻な事態となっている。

このような交通事故に直結する飲酒運転を排除し、町民を交通事故から守ることは私たちの責務の一端であり、緊急重大な課題である。

よって、重大事故に直結する飲酒運転をなくし、安全で安心して暮らせる交通社会を確立するために、関係機関・団体をはじめ家庭、職場、地域において次の諸施策を強力に実践することを誓い宣言する。

- 1 飲酒運転四(し)ない運動を徹底する。

(運転者は) ○ 運転するなら酒を飲まない。 (家庭職場では) ○ 運転する人に酒をすすめない。
○ 酒を飲んだら運転しない。 ○ 酒を飲んだ人に運転させない。

- 2 薄暮時の「早めライト点灯」で安全運転を図る。
- 3 シンデレラタイムを守り夜間の事件・事故防止を図る。

以上、決議する。

平成15年12月19日 沖縄県久米島町議会

イラクへの自衛隊派遣に反対する決議

小泉内閣は、先の国会で成立された「イラク特別措置法」でイラクへ自衛隊派遣を強行しようとしている。

米・英のイラク攻撃は、イラクの大量破壊兵器保有が捏造や誇張によるものであったことが明らかになり、戦争と占領に大義がないことが一層明白になっている。

イラクでは米軍の戦争が文字どおりゲリラ戦となり、給水であれ、治安維持であれ、軍事装備をした自衛隊が軍事占領下のイラクにいけば、どんな活動にしても軍事支援になるということである。

イラクの戦争は、自衛隊派遣と武力行使を厳しく禁止している日本国憲法とは絶対両立しないことを教えている。

日本は、憲法の平和原則を厳守し、国連憲章に基づき、医療や教育などの人道・復興支援による平和の貢献こそなすべきである。

よって本議会は、イラクへの自衛隊派遣に反対し、政府が「イラク特別措置法」を発動しないよう強く求めるものである。

以上、決議する。

平成15年12月19日 沖縄県久米島町議会

宛 先 内閣総理大臣 外務大臣 防衛庁長官

久米島町議会議員！新たなスタートで
町政を質す！！

一般質問

本定例会での一般質問は、12月18日に15名が登壇しました。



鳥島漁港



内間久栄 議員

内間議員 鳥島漁港は主に鳥島住民が利用しているが、近年、船の大型化や遊漁船の増大など、今後の漁業振興を図る上から、漁港の拡張整備は不可欠と考える。

鳥島漁港拡張整備を

費用対効果の面から拡張は厳しい

また、航路の定期的浚渫と、船の航海安全を願い、航路標識の増設を要望したいが、今後、鳥島漁港整備計画はどのように考えているか。

高里町長 鳥島漁港は昭和四六年三月二六日に漁港指定され、昭和四七年度から局部改良事業で整備が始まった。昭和五三年度に改修工事により本格的に整備を行い、昭和六一年までに施設がほぼ完成、その後、昭和六二年度から平成五年度までには局部的な整備がなされた。

今後の整備計画として、漁港施設の拡張は、漁船隻数及び費用対効果の面から厳しい状況にある。航路標識または漁港施設の整備は、水産基盤整備事業で対応できるメニューを検討して、事業採択に向けて県に要望する。

一般質問通告一覧表

内間久栄議員

一、小・中学校周辺の道路整備について

二、県道の歩道整備について
三、鳥島漁港の拡張整備と航路の浚渫並び航路の標識の増設の計画は

四、大田・西銘線継続整備計画について
五、下水道接続の促進について

崎村稔議員

一、石ドリーニーについて
二、嘉手苅原農道について

幸地良雄議員

一、海洋深層水の農業への活用対策について

宮里洋一議員

一、具志川漁港の整備について
二、高齢者（シルバー）の健康保持について
三、住民検診について

山城宗太郎議員

一、さとうきびの早期製糖操業について
二、北真謝原の排水路の整備について

大田哲也議員

一、阿里地区の分譲工事及び分譲の進捗について
二、県道二二四号線（宇根仲泊線）の歩道整備について

下水道接続率向上対策は？

説明会や広報・チラシ等で周知

内閣議員 久米島町は一部地域で下水道が整備され、地域環境衛生の向上に大きく貢献していることは大変喜ばしいことだが、下水道の接続率が良好とは言えない。町側は、下水道地区の町民に、接続について理解を得るために積極的に接続の促進を働きかける必要があると考える。久米島の観光発展を考え、地域活性化を図る上から、鳥島、仲泊、大田、兼城他接続可能な地域町民と話し合いを進めて接続率の向上を図る必要があると考えるが、今後、町側の計画はあるか。

高里町長 町は水質汚濁防止、住みよい生活環境を創り出すため下水道事業を推進している。しかし、下水道の接続率は低く、現在の全体接続率は二八%である。接続率向上を図る対策として、下水道接続推進委員会を組織し、その下で地域の説明会、町の広報・チラシ等で下水道の接続向上を高めたい。

石ドーニー周辺整備をし観光振興を 観光地整備の起債対応できるように努力する



崎村 稔 議員

崎村議員 宇嘉手苅の椎名原にある遺跡「石塘根」は、昔、長い干ばつが続いたときに、飼っていた牛が逃げ出して、この石の湧き水を発見したという伝説は有名である。周辺道路を整備すれば農業や観光振興に役立つと思うが、その考えはなにか伺いたい。

高里町長 ここへの進入路は、補助事業の採択基準に

満たないため、農道事業としては整備できない。今後、観光地の整備として起債事業で対応できるように努力していきたい。

盛本商工観光課長 この場所は、観光地として今後使えるかどうか、また、地権者や地域の問題もあると思うので、そのへんの意見も聞きながら総合的に考慮していきたいと思う。



石塘根進入路

本永朝辰議員
一、ハーベスターの受委託料について
二、墓地の集団化について

上里総功議員
一、農道整備について

仲村昌慧議員
一、鳥島でのミサイル試験について
二、町議会議員選挙の開票について

仲原健議員
一、北真謝原の北側保安林の整備について
二、農道の整備について

國吉弘志議員
一、福祉長屋の管理及び跡地利用について

平田勉議員
一、工事の平等発注と平準化について
二、総合福祉センターについて
三、蔵元の復元について

翁長英夫議員
一、地域リーダー育成について
二、国際交流について

上江洲盛元議員
一、平和の問題について
二、教職員の人事異動について
三、選手派遣費について
四、さとうきびの収穫期間について
五、一般質問での検討事項等の次の定例会までの報告義務について

真栄平勝政議員
一、土地利用計画について
二、仲里小学校、中学校の運動場の整備について

農道整備で農家に「夢」を!

農道維持補修予算で効率的な整備を

崎村議員 字儀間の嘉手苅原農道本線は、短い農道ではあるが、急な坂道で、雨が降る度に流されて道の真ん中に穴が空く。この件は、旧仲里村議会でも取り上げて整備するよう要請したが、未だ整備する気配がない。町長自らの目で確認し、農家の実情を理解すべきである。早めに整備し、農家の「やる気」を引き出すべきではないか。

高里町長 この農道については、農道の維持補修の予算で行っているので、今後この予算でできないか検討していきたい。

仲村建設課長 この線は、長期で見た場合、毎年コーラルで補修するよりは、アスファルトで勾配のきついつから随時整備した方が効率よく、予算的にもいいのではないかと思う。今後、検討して整備していきたいと考えている。

海洋深層水で町農業活性化を

技術移転の可能性を追求していく



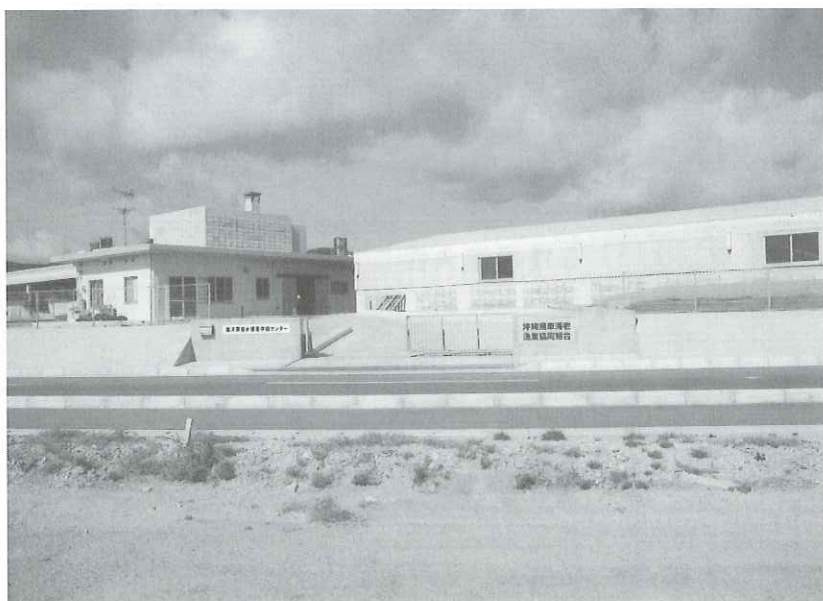
幸地良雄 議員

幸地議員 海洋深層水の研究が進み、水産業並びに加工業分野においては、その成果が立証され実用化が進んでいる。

農業分野でも研究が進み、よい成果が出て実用可能だといわれている。しかし、施設に高額な資金が必要であり、一般農家では実用化は困難である。

町として農業分野にも活かすべく対策を講ずるべきだと思うが、町長としてどう考えているか伺いたい。

高里町長 海洋深層水利用による農業生産部門の研究成果は、かなり進んでいるという報告はある。しかし、現段階では施設整備に必要な資金を要し、採算面で一般農家が行うには厳しいと思われる。企業経営での技術力、資金力、経営ノウ



海洋深層水種苗供給センター

ハウを持っている者が実施したいということであれば、支援したいと考えている。なお、町として研究所と連携を取り、技術移転がどのくらい可能なか検討し、対策を講じていきたいと考えている。

危険！具志川漁港

危険防止対策を図る



宮里 洋一 議員

宮里議員 具志川漁港周辺は非常に危険な状態にあるが、危険防止対策がなされていない。また、道路東側に山積みされている残さは処理するのか。処理後はどうするのか、伺いたい。

それから、字具志川から漁港に行く進入路を建設する計画はないか。

高里町長 具志川漁港内の危険防止対策については、漁港整備の中で対応が可能かどうか検討して対応していきたい。また、道路東側の残さ処理は、これまで工事現場での資材として利用している。今後も利用しながら後処理をしたい。



具志川漁港

仲村建設課長 字具志川から漁港への進入路については、旧道があるが、建設となると、地形が勾配的にどうなのか、大きな岩もあり、自然破壊にならないか、現地を充分調査し、今後も検討していきたい。

ゲートボール場の芝張り整備を

介護予防事業で事業化図る

宮里議員 各字でゲートボールが非常に盛んになっており、試合になると芝生で練習している字は有利だと思う。各字のゲートボール場の整備計画はあるか。そして、どの程度まで町として整備してもらえるのか伺いたい。

高里町長 現在、各字で使用されているゲートボール場については、農村公園として整備した箇所及び各字単独で整備されたのがほとんどだが、今後、福祉関係の介護予防事業等が確立されるならば、当該事業の拠点整備事業として関係機関と調整し、希望地域を選定して事業化に向けて推進していきたい。

ゲートボール豆知識

ゲートボールは、戦後間もない昭和22年に、北海道の芽室町で子供たちが気軽にできる遊びとして、フランスの伝統的競技「クロッキー」をヒントにして生まれました。その後、手軽で体力的な負担が少ないことから、大人（特に高齢者）の間でも普及し、誰でもできる競技として全国に広まりました。現在では、日本国内のみならず世界各国に愛好者がいる世界的なスポーツに成長しています。

今年度の製糖操業は？

早期操業し、3月までに終了の方針



山城 宗太郎 議員

山城議員 六月定例議会の一般質問で、「行政として、さとうきびの早期製糖操業に向けて今後も要請を行う」との答弁だったが、その後の状況は。

高里町長 製糖開始、終了時期については、早めに操業し、遅くとも三月末までには終了してもらいたいと、以前から再三要望している。久米島さとうきび振興対策協議会においても、製糖終了は三月までに終了する方針を決定。一月に久米島製糖の本社へ行き、社長に直接、早期操業について要請した。久米島製糖側としても、今後、さとうきびの生産量や熟度の問題等を考慮し、三月までには終了したいという方針である。

北真謝原下流の整備は？

現状のままで支障なしと判断



北真謝原の排水路

山城議員 北真謝原の排水路は、上流側の半分は整備されているが、未整備の下流については、いつ整備を行うのか。

高里町長 北真謝原の排水路については、上流側は断面を拡張し整備を行った。下流側については、現状のままで排水断面が充分あり、排水に支障がないというところで改修していないが、今後現地での排水状況を見ながら検討したい。

議会傍聴のご案内

新しい顔ぶれで再スタートした久米島町議会！

あなたの「声」が町政に反映されるか！ 自分の目で確かめませんか。

次回の定例議会は3月です。詳しい日程等は議会事務局までお問い合わせください。

久米島町議会事務局 (098) 985-7128



阿里地区分譲地の売却状況は

二期分譲に併せ、県内外に広くPR



大田 哲也 議員

大田議員 阿里地区分譲地の一期工事は、旧具志川村において整備推進されてきたが、現在、久米島町に引き継がれてから何区画売買されたか。また、未契約分の区画は、今後どのように売却する計画があるのか、町長の考えを聞きたい。



グリーンビュー阿里

高里町長 仲泊宅地造成事業（第一期）にて整備された宅地は、現在、一区画売却され、二区画が分譲中である。また、平成一六年度四月頃には第二期（五七区画、うち一区画は公共事業用地）の分譲開始予定であり、それに併せてパンフレットの作成やホームページ、チラシ等により沖縄県住宅供給公社の協力を得ながら県内外へ販売促進等を行っていく予定である。

未整備歩道の早期整備を！

整備計画、着々と進めている

大田議員 県道二四号線（宇根仲泊線）の歩道整備は、未整備地区として、字具志川と字仲泊の間、字西銘と字仲泊までの間及び字山里と字上江洲までの間のガードレールが腐蝕したま

ま放置されている。この間は、大岳小学校、具志川中学校の通学路並びに町民の生活道路として重要な路線である。事故を未然に防止するうえから、歩道整備は重要課題として県へ要請する必要があると思うが、具体的な取り組みについて考えを聞きたい。

高里町長 地域住民の生活道路として、さらに各観光地へのアクセス道路としても重要な位置付けとなっている。また、児童生徒の通学路として利用されているが、歩道の未設置区間があり、歩行者の通行に支障をきたしている。沖縄県南部土木事務所では、現在、整備計画を進めているところであるが、字具志川と字仲泊の間については、平成一四年と平成一五年度において調査設計を行い、平成一六年度より用地買収及び現場着工を予定している。字西銘と字仲泊までの区間及び字山里と字上江洲の区間については、今後も整備していく方針とのことである。

墓地の集団化整備を！

造成計画はないが、必要性あり



本永 朝辰 議員

本永議員 近年、土地改良や農地法との関連等で墓地の確保が難しく、墓の建設が容易ではなく、大変苦慮している状況である。町として墓地の集団化についての見解を伺いたい。

山城企画財政課長 墓地の集団化については、土地利用計画策定の意見交換で各字から意見が出ている。町議会においても再三質問があり、ぜひとも事業化しなければいけないと思うが、まだ町の方では造成計画は立てていない。事業化ができるかどうかも含めて、検討していきたいと考えている。

ハーベスター受委託料金の助成を！

関連事業を勘案し、今後検討していきたい



ハーベスターの稼働状況

本永議員 農業生産法人が設立され、これまで遊休化していた農地の集積や機械化の一貫体系の推進等、さとうきびの振興の上で大きな役割を果たしており、今後の生産性の向上が期待されるものと考えます。ところが、ハーベスターの受委託料が高く、このままの状況では、生産意欲が減退するのではないかと危惧するところである。そこで、これを軽減すべく、行政の方で生産者へ助成をして育成を図る必要があるのではと考えるが、町長の見解を伺いたい。

高里町長 ハーベスターの受委託料については、町としても、現在、さとうきびに対応するいろいろな助成・負担事業等の関連や財政の問題等があり、ハーベスターの刈り取りの受委託料金の助成については、今後検討していきたいと考えている。

農道整備について

上野原線は19年度に採択申請を



上里 総功 議員

上里議員 儀間二九号線からタイ原のアーラ線に抜ける、通称上野原線は利用者も多く、主要な道路である。今後の整備計画はあるか。

また、儀間三二号線と沖縄電力正門から山玉城に行く道路、通称山玉城線の整備計画についても伺いたい。



未整備の上野原線

高里町長 通称上野原線の整備については、農道整備事業で平成一九年度に採択申請をし、国の補助事業で整備をしていく考えである。

儀間三二号線と通称山玉城線の整備については、国や県の補助事業採択基準を満たしていないために整備はできない。

今後、起債事業等で整備できないか検討したい。

上里議員 国、県の補助事業が入れないというところで、八年前から「検討する」ということだったが、もっと早くできないものか、なぜ一九年度なのか。

仲村建設課長 採択基準が変わり、以前の延長五〇〇メートル以上から二〇〇メートル以上に、受益面積も一〇ヘクタール以上から五ヘクタール以上に緩和された。今回、その採択基準に当てはまるかどうかということ、平成一九年度に採択申請する予定で、県の方と今調整中である。

ミサイル試験実施、町長の今後の見解は？

一貫して「反対」の意思表示を貫く



仲村 昌 慧 議員

仲村議員 九月の定例議会
で、「鳥島での自衛隊のミ
サイル発射試験実施に反対
する決議案」が賛成多数で
可決された。しかし、採決
の結果内容を見ると、一七
対一四で、一四名の議員が
決議案に反対であった。こ
の結果を町長はどう受け止
めているのか。

次に、那覇防衛施設局は、
「地元関係者に理解が得ら
れるよう引き続き努力して
いきたい」とコメントして
いるが、今後、打診があっ
た場合、町長はどう対応を
するのか。町長の見解を伺
いたい。

高里町長 私は、鳥島での
ミサイル発射試験実施につ
いては、一貫して反対の立
場である。去る九月議会に
おいて、鳥島でのミサイル
試験実施反対決議が可決さ
れたことは、町政の責任者
として大変心強く思ってい
る。もし仮に那覇防衛施設
局から打診があった場合に
おいても、反対の意思表示
をする予定である。

選挙開票、遅れた原因は？

立候補者多く、正確さ確保のため

仲村議員 今回の町議会議
員選挙の開票作業が大幅に
遅れ、作業終了したのが深
夜の一時過ぎとなった。町
民からは開票作業に対する
怒りと不満の声が上がった。
今後、このような事態が起
こらないためにも、開票作
業が遅れた原因を検証し、
開票が正確・迅速に行われ
るよう検討すべきだと思う
が、町長の所見を伺いたい。

高里町長 合併後初の町議
選挙は、開票の最終報告が
深夜になった。これは、二
四名という多数の立候補者
のため、開票の公正、正確
さを確保するための開票事
務だったと思うが、その
省点もあると思うが、その
点については今後改善して
いきたい。

北真謝原クルシに保安林を 今年度から六年計画で整備予定



仲原 健 議員

仲原議員 旧美崎土地改良
区の北真謝原の一番北側、
通称クルシの畑が、潮害や
塩害のため作付け不能の状
態が続いている。外海がす
ぐ近くまで迫っていて、台
風時以外の少々の北風でも
クルシの岩にぶつかった潮
風が飛んできて被害を受け
る地区である。高い堤防を
築いて、その上に植栽する
強固な保安林が必要だと思
うが、その対策について伺
いたい。

高里町長 真謝から宇根ま
での海岸線の保安林につい
ては、以前から整備の要望
があり、町としても再三事
業実施の要請をしてきた。
県としても保安林の整備は
緊急を要するものと考えて
おり、事業予算との関連で
ようやく今年度から約六カ
年かけて整備する計画であ
る。平成一五年度は約九〇
〇平方メートルの保安林改
良事業を予定している。こ
の地区は早急な整備が必要
と考えられるので、工法に
ついて併せて引き続き県
に要請していきたい。



悪道、染色作業にも支障が

一部アスファルト舗装で便宜図る



泥染洗い場入り口

仲原議員 宇江城土地改良区内の東堂原にある宇江城四号線と宇江城一五号線の交差点から北西に下って行くと、地域の人たちが「アンジャー」と呼ぶきれいな水が流れる小川があり、そこに久米島紬の泥染めの洗い場がある。宇江城地区の紬織りの人たちがよく利用する場所であるが、そこまでの坂道が砂利道で、雨が降るたびに流され危険な状態にあり、染色作業をする

人たちに支障をきたしている。早急な整備が望まれるが、その対応について伺いたい。

高里町長 この農道は、毎年コーラル舗装を行っているが、勾配がきつく、維持管理が大変な箇所である。一部勾配のきつい箇所はアスファルト舗装をし、利用者への便宜を図りつつ、維持管理の節減を考えていきたい。



國吉弘志 議員

福祉長屋の管理状況は？
老朽化が進み危険！早急なる撤去に向け検討中

國吉議員 福祉長屋は、生活保護世帯を主に入居させる目的で、昭和四〇年代に旧具志川村内各地域に建設されたが、現在、この建物がどういふ方法で管理されているのか。また、建物の撤去後の跡地利用についてはどういふ計画であるのか伺いたい。

高里町長 福祉長屋は、旧具志川村の行政財産として各字に建設されているが、現在、利用されているのが字大田に一棟一世帯、宇鳥島に二棟一世帯のみとなっている。この長屋は四〇年以上経過し、老朽化が激しく、危険な状態にある。町としては、現在入居してい



鳥島の福祉長屋

る方が転居すれば建物を撤去し、跡地利用について地元と協議して検討していきたいと考えている。

大田福祉課長 現在、入居されている方々は生活保護世帯であり、近くに借入で

きる場所があれば斡旋して、一日も早く撤去する方向で、地域の方々とも相談しながら進めていく。

跡地利用についても、地域の要望も取り入れて今後の計画を進めていく。

公共工事の平等発注を

工事発注の均一化、平準化に努める



平田 勉 議員

予定価格の事前公表は検討中であり、他の自治体の実態も調査し、実施に向けて調整をしたい。

平田議員 公共工事の平等発注や平準化が急務である。また、公正、公平な工事発注のために、工事予定価格の事前公表や請負契約条例の見直しが必要ではないか。

高里町長 指名競争入札により発注しているが、本年度の発注状況を見ても、等級が均一に行われているとは言えない。時期も平準化されている状況ではない。原因は、町内の業者の等級に偏りがあることや、国、県の補助金交付決定が年度途中であることが挙げられる。町としても工事の分割や単独事業の早期着工など、工事発注の均一化、平準化に努めたい。

総合福祉センターの進捗状況は？

17年度建設に向け調整中



総合福祉センター予定地

平田議員 一四年度に、総合福祉センター建設計画が策定されたにもかかわらず、この事業に全く手が付けられず先送りされている。建設計画の進捗状況と、今後の取り組みについて明らかにしていただきたい。

高里町長 一四年度に策定された計画の実現に向けて、県知事へ要請し、長寿社会対策室と調整を図っている。

基本計画メニューのうち、実施可能なデイサービスセンター（五〇名対応）、生活支援ハウス（二〇棟）の複合施設を、一六年度に実施計画、一七年度建設に向けて調整を進めている。その他の複合施設についても、福祉行政の最重要課題と位置付け、実現に向けて努力していきたい。

地域リーダー育成を

各方面で人材育成事業を実施



翁長 英夫 議員

翁長議員 地方制度調査会では、自助努力に基づく地域の特性に応じた創造的施策の展開が重要であるとし、そのためのとるべき措置として、第一に挙げているのが地域リーダーの育成・活用の問題であるといわれている。そこで、アイデアと実力のある地域リーダーを育成し、その活動を支え、活用していくための環境づくりを進めるべきであり、

行政主導ではなく民間主導住民の中から盛り上がった意欲を活かすことが地域振興行政の責任であると考えるが、町長の所信を伺いたい。

高里町長 地域振興は人づくりから、ということについては同感である。町として人材育成の面では、地域リーダー研修への派遣や後継者育成事業への支援などを行っている。人材活用に関しては、審議会や各委員会への人材投与、町民参加のもと、総合計画の策定や島の学校プログラムの策定、インタープリンター養成を行っているところである。



若者の海外派遣を！

国際交流は必要、可能な方策を検討

翁長議員 国際化の時代といわれてからずいぶん経つが、国際化とは何か定義づけることは非常に難しいと聞いている。我々とは違った考え方、風習、文化の中で生活する国、人が存在し、それを理解することも国際化の中に生きる姿勢として大事なことでないかと考えられる。「百聞は一見にしかず」という格言もあるように、自分の目で確かめ、肌で感じさせるために、若者を海外に派遣し、町民が主体性を持ち、創造性を生かすべきではないかと思うが、町長の所信を伺いたい。

高里町長 国際交流については、現在の国際社会において島の将来を担う人材育成として国際交流の機会が必要だと思う。町の教育、文化の振興と合わせて財政状況も勘案し、どのような方法が可能なか検討していきたい。



上江洲 盛元 議員

ミサイル試験実施とイラク派兵、町長の見解は？ どちらも「反対」

上江洲議員 ①鳥島での自衛隊のミサイル発射試験実施については、町長は六月議会の議員協議会の場で反対の立場を表明し、議員も全員反対の意思を確認した。しかし、町長は九月議会で「基本的に反対で、町民の動向を見ながら立場を明確にする」とのことだった。そのような中で議会は、賛成多数で反対決議をした。町長は、現在も明確に反対の立場であるか確認したい。

②自衛隊のイラク派兵反対については、政府は臨時閣議を開き、イラクへの自衛隊派遣を決定した。戦後初の「戦場」への派兵である。これは、日本国憲法を真つ向から踏みこむものであり、断じて許すことはできない。町長の考えはどうか。

高里町長 ①については反対である。
②は、現状では反対である。

製糖工場の長期操業を

早期操業を会社に要請

上江洲議員 さとうきびの収穫期間と操業始めの時期については、農家から苦情が絶えない。手作業での収穫の農家にとっては、六〇日という短い操業時間のため機械に頼らざるを得ない。せめて七〇日から八〇日あれば、それなりの収益が入る。町としての対処はどうか。また、操業開始の時期も早めてほしいとのことである。

高里町長 操業期間については、その年度の生産量に関係する。久米島製糖工場の処理能力は一日当たり一千トンで、昨年度は災害で生産量が四万四千三二四トンと少なく、工場としても農家の負担を考え処理能力を約八〇〇トンに落とし、操業を六四日で終えている。仮に七〇日とした場合六日間、八〇日とした場合一四日の差である。いずれにせよ人力で刈り取る方々や農家の立場を考え、行政として早期操業、操業期間の問題についても、会社に要請したい。



眞栄平 勝 政 議員

水源地流域汚染で飲料水が危険!

パトロール巡視と、町民意識の啓蒙に努める

眞栄平議員 水源地流域の土地利用について、飲料水として利用されている水源地流域には、相当数の畑があり、農薬、赤土、その他にも有害物の流入の可能性があるのでないか。また、畑として利用されている民有地、町有地のおおよその面積を示してもらいたい。水は人間の生きるうえで最も大事なものであり、その保全、供給は行政の大きな役割である。有害物の流入がないよう、その対策を講じる必要があると思うが、具体的な対策を示してもらいたい。

高里町長 水源地流域は、現状では大切な飲料水の水源地への汚染物質流入が考えられる。流域の民有地、町有地の面積は、白瀬一号ダムが畑五・一ヘクタール、山林一四・四ヘクタールで、儀間ダムが畑二・七ヘクタール、山林六・二ヘクタールである。

有害物流入は、ゴミの不法投棄が主な原因である。対策として、パトロール車による巡視をしている。今後関係各課と連携し、町民意識の啓蒙に努め、大事な飲料水の保全に配慮し対策を講じていきたいと考えている。



仲里小学校運動場

仲里小学校・中学校運動場整備を

実態調査し、早急対応を

眞栄平議員 旧仲里村の行事が仲里小学校で開催された際に、運動場を駐車場として使用されてきた。現在は表面の固結化により雨天後は他校の運動場に比べ、水はけ、浸透性が非常に悪い。実態を調査し対処すべきではないか。

仲里小学校・中学校のバックネットの整備について、県内小中学校でバックネットが設置されていない学校は仲里小学校・中学校だけである。バックネットは学校の体育施設の必需施設でもあり、早急に設置すべきではないか。仲里中学校においては、体育館建設の際にバックネットの仮移設が行われ、本設置について学校との申し合わせがあったと聞いているが、その経緯についても併せて伺いたい。

喜久里教育長 仲里小学校のグラウンドについては、降雨時になると、浸透性が悪いため数箇所水たまりができ、幼児、児童の体育の授業等に支障をきたしているとのことである。実態を調査して関係者と協議し、早めに対処していきたいと考えている。

仲里中学校のバックネットの設置については、学校と協議した結果、バックネットの骨組み、パイプがサビ等により腐蝕し、本設置しても長期間利用できないことや、教育の諸活動に支障をきたすことが予想され、現在の川沿いに防球ネットの設置工事を行った。

久米島町議会組織名簿

任期：平成15年12月1日～19年11月30日

①役職 ②年齢 ③職業 ④住所 ⑤最終学歴 ⑥当選回数



仲地 宗市

- ①議長
- ②70歳
- ③農業
- ④字兼城
- ⑤久米島高等学校
- ⑥3回



宮田 勇

- ①副議長／総務・文教・民生委員
- ②62歳
- ③自営業
- ④字宇根
- ⑤沖縄高校
- ⑥5回

常任委員

総務・文教・民生委員



仲原 健

- ①委員長
- ②66歳
- ③団体役員
- ④字真謝
- ⑤沖縄国際大学短大部中退
- ⑥2回



翁長 英夫

- ①副委員長
- ②71歳
- ③農業
- ④字宇江城
- ⑤比屋定中学校
- ⑥3回



上江洲 盛元
(議会広報副委員長)

- ①委員
- ②67歳
- ③無職
- ④字謝名堂
- ⑤琉球大学
- ⑥3回



仲村 昌慧

- ①委員
- ②48歳
- ③農業
- ④字山里
- ⑤沖縄大学
- ⑥3回



平田 勉

- ①委員
- ②50歳
- ③自営業
- ④字真謝
- ⑤久米島高等学校
- ⑥3回



國吉 弘志

- ①委員
- ②61歳
- ③農業
- ④字鳥島
- ⑤久米島高等学校
- ⑥3回



本永 朝辰
(議会広報委員)

- ①委員
- ②63歳
- ③無職
- ④字大原
- ⑤沖縄大学中退
- ⑥1回



内間 久栄
(議会広報委員)

- ①委員
- ②61歳
- ③農業
- ④字仲泊
- ⑤久米島高等学校
- ⑥1回



山城 宗太郎

- ①委員長
- ②61歳
- ③自営業
- ④字真謝
- ⑤久米島高等学校
- ⑥3回



大田 哲也

- ①副委員長
- ②54歳
- ③会社員
- ④字西銘
- ⑤沖縄電気通信専門学校
- ⑥5回



真栄平 勝政

- ①委員
- ②52歳
- ③自営業
- ④字宇根
- ⑤久米島高等学校
- ⑥2回



上里 総功
(議会広報委員長)

- ①委員
- ②56歳
- ③農業
- ④字儀間
- ⑤日本電子専門学校
- ⑥3回



崎村 稔

- ①委員
- ②53歳
- ③会社員
- ④字儀間
- ⑤久米島高等学校
- ⑥3回



平良 朝幸

- ①委員
- ②54歳
- ③自営業
- ④字比嘉
- ⑤沖縄大学
- ⑥1回



幸地 良雄
(議会広報委員)

- ①委員
- ②63歳
- ③農業
- ④字謝名堂
- ⑤久米島高等学校
- ⑥1回



宮里 洋一
(議会広報委員)

- ①委員
- ②65歳
- ③農業
- ④字具志川
- ⑤日本大学通信教育中退
- ⑥1回